

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	5月8日	設計図 (鬼光頭川橋 下部工編)	1/70、39/70		鬼光頭川橋A2橋台の鉄筋Cについて、1/70頁の数量総括表では「D16～D25」として0.172tは集計されていますが、39/70の鉄筋質量表では「D13」として172kgが記載されています。鬼光頭川橋A2橋台の鉄筋Cの鉄筋径は、「D16～D25」と「D13」のいずれが正かご教示ください。	鉄筋C D13 A2橋台の数量が0.172t 鉄筋C D16～D25 A1橋台の数量が0.335t、P1橋脚の数量が8.206t、合計数量が8.541tとなります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
2	5月8日	割掛対象表、 割掛対象表 参考内訳書			鬼光頭川橋A1橋台およびP1橋脚の深礎杭の足場工費について、該当する割掛項目が無く、費用を計上する箇所が分かりませんのでご教示ください。	足場工費は割掛対象表参考内訳書に記載の足場工費(下部工)を参考に、貴社の計画に基づき必要と思われる費用を計上してください。
3	5月8日	特記仕様書	31頁	24-4	構造物掘削特殊部Aの作業内容において、「リース品」とありますが、リース期間の記載がありませんのでご教示ください。	特記仕様書24-31工事用作業構台 (4)工事用作業構台の設置・撤去時期及び存置期間を参考に、貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	5月8日	設計図 (鬼光頭川橋 下部工編)	43/70		鬼光頭川橋A1橋台で施工するダウンザホールハンマ工法について、砂充填に使用する材料は購入材と現場発生材のいずれでしょうか、ご教示ください。	購入材にてお考えください。
5	5月8日	割掛対象表、 割掛対象表 参考内訳書			御社の土木工事積算基準6-78頁によれば、ダウンザホールハンマ工法の機械編成として50～55t吊クローラークレーンが記載されていますが、構造物掘削特殊部Aのダウンザホールハンマ工法で使用するクローラークレーンの工事用機械分解組立費を計上する箇所が分かりませんのでご教示ください。	構造物掘削特殊部Aに関するクローラークレーンの工事用機械分解組立費は、割掛対象表参考内訳書に記載の工事用機械分解組立費(作業構台)に含むものとお考えください。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
6	5月8日	特記仕様書	31頁	24-4	構造物掘削特殊部Aにおける親杭の撤去方法について、特記仕様書では「油圧式杭圧入引抜機によるもの」とありますが、設計図(鬼光頭川橋下部工編)42/70注記3)では「パイロハンマ工法による引抜き」とあります。いずれが正か、ご教示願います。	設計図を正とお考えください。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
7	5月8日	設計図 (鬼光頭川橋 下部工編)	45/70		鬼光頭川橋P1橋脚竹割り土留め工の数量表で、「底版コンクリート工(C2-1) $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 」と記載がありますが、御社のコンクリート施工管理要領におけるコンクリート種別C2-1は $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ となっています。底版コンクリート工は 24N/mm^2 ではなく、 18N/mm^2 の誤りではないでしょうか。	底版コンクリートの強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ が正となります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
8	5月8日	設計図 (鬼光頭川橋 下部工編)	51~69/70		工事用作業構台AおよびBについて、数量表が設計図書に記載されていませんので、ご提示願います。	数量表については、後日、交付図書を訂正いたします。
9	5月8日	特記仕様書	54頁	24-30	工事用道路撤去復旧工Aについて、用排水構造物、ガードレール、大型土のう、敷鉄板の撤去後の取扱いが記載されていませんので、ご教示ください。また、発生材として引渡しの場合は、引渡し場所をご教示下さい。	R6.5.15当社HP掲載の「質問に対する回答書36(番号3)」をご確認ください。
10	5月8日	特記仕様書	54頁	24-30	工事用道路撤去復旧工Bについて、用排水構造物の撤去後の取扱いが記載されていませんので、ご教示ください。また、発生材として引渡しの場合は、引渡し場所もご教示下さい。	R6.5.15当社HP掲載の「質問に対する回答書36(番号3)」をご確認ください。
11	5月8日	参考図	10/25、11/25		坑口処理工の吹付けコンクリートについて、参考図で「t=23cm」と記載がありますが、割掛対象表参考内訳書の坑口切付費では「t=20cm」と記載されています。t=23cmと20cmのいずれが正か、ご教示ください。	t=23cmを正とお考えください。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
12	5月8日	割掛対象表、 割掛対象表 参考内訳書			非常駐車帯の妻壁部の型わく施工時に必要な足場工費について、該当する割掛項目が無く、費用を計上する箇所が分かりませんのでご教示ください。	「土木工事積算基準(令和5年7月版)」を参考に、貴社の計画に基づき必要と思われる費用を計上してください。
13	5月8日	割掛対象表、 割掛対象表 参考内訳書			割掛対象表参考内訳書の【仮設備工事費】ダンプトラック運転費に記載された「延運転月数-48.2ヶ月」は、御社の土木設計数量算出要領15-97~15-99頁に記載のある「延運転月数」のことでなく、トンネル掘削開始~トンネル掘削完了までの月数のことと考えて良いでしょうか、ご教示ください。	割掛対象表参考内訳書および工事工程表を参考に、貴社の計画に基づきご判断ください。
14	5月8日	特記仕様書	66頁	24-37	調査ボーリング工の削孔径が分かりませんので、ご教示ください。	調査等共通仕様書3-5-2(3)に基づき、削孔径はφ66mmとお考えください。 【訂正】 本工事における調査ボーリングの削孔径はφ101mmとお考えください。
15	5月8日	設計図 (鬼光頭川橋 下部工編)	70/70		ふとんかごの線径が分かりませんので、ご教示ください。	ふとんかごの線径は3.2mmとしてお考えください。
16	5月8日	設計図(鬼光頭 川橋 下部工 編)	70/70		ふとんかごの止め杭の要否が分かりませんので、ご教示ください。また、必要な場合は、止め杭の形状寸法および数量をご教示ください。	設計図書に示すとおり、止め杭はありません。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
17	5月8日	特記仕様書	69頁	25	防音壁工AおよびBについて、撤去に関する記載がありませんが、撤去費用も割掛工事費に含むものと考えて良いでしょうか、ご教示ください。	そのとおりお考えください。